

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 31 年度

市町村名	川口市			
提案事業名	イイナパーク川口（赤山歴史自然公園）周辺地域活性化事業			
事業期間	平成 31 年度	～	31 年度	
事業の必要性、目的	「イイナパーク川口」と「赤山城跡」をカラー舗装で結び、周辺一体を面的に紹介することで地域の魅力を向上させ、集客の増加を図る。 地域の魅力を高め、集客増加を図ることで多くの方々に本地域固有の伊奈氏の歴史や赤山の枝物、安行の植木などに触れる機会を創出することができ、地域活性化に寄与する。			
成 果 指 標	（成果を検証する指標） イイナパーク川口に訪れた方の人数			
	（成果検証の具体的な方法） 伊奈氏や安行植木の歴史などを紹介している「イイナパーク川口」内の歴史自然資料館の出入口に設置してある人感センサーを活用して来場者数をカウントする			
	（上記の指標を設定した理由） 訪れた方々の人数を比較することで、周遊路整備前後の集客数の変化を把握することができるため			
	（成果の目標値）			
	現状値 （30年11月現在）	5,560人	目標値 （32年11月時点）	6,672人
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）	73,392人	稼働率（目標）（％）	
住民への公表方法及び特記事項		市広報紙、ホームページ等で周知を行う。		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成31年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 周遊路整備事業	「イイナパーク川口」と「赤山城跡」を結ぶ道路にカラー舗装の整備を行うとともに、地場産業を活用した案内板などを設置する。	36,388
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
合計		36,388

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	周遊路整備を行い、周辺地域を回遊する関連イベントと連携を図りつつ、市広報や市HP等を活用して積極的にPRを行い、集客増加を図る。
成果指標の達成見込み	現在整備を進めているハイウェイオアシスが完成した暁には、高速道路利用者の方々にも積極的にPRを行い、本地域固有の魅力に触れる機会を創出することで、新たな賑わいと更なる集客増加が期待できる。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NP0等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。